

## 中学校との居住地校交流がスタート！

今年度、天王みどり学園では、交流及び共同学習の一環として、これまで行ってきた小学部に続き、中学部での「居住地校交流」をスタートさせました。

今年度は、交流を希望した10人の生徒が、各中学校の協力を得て、計7校で居住地校交流を行いました。

### 平成30年度 中学部の居住地校交流実施状況

\* ( ) 内は、複数の場合の人数

地区	交流校	教科及び主な活動内容
潟上市	天王南中 (3名)	体育「跳び箱、マット運動」音楽「合唱」「リズム」
	天王中	総合的な学習の時間「絵手紙」
	羽城中	英語「Do you like~?」
南秋	五城目第一中	体育「陸上競技」
男鹿市	男鹿東中 (2名)	家庭「調理実習」(2回実施)・「東中祭りハーサル【合唱】」
秋田市	秋田北中	音楽「合唱」
	飯島中	体育「バドミントン」
合計	7校10名	



#### ☆ 中学校の生徒の感想

「自分たちとあまり変わらないと思った」  
 「教えてあげても理解するのが難しいのかなと思ったけれど、一緒に歌ったり話したりできて楽しかった」  
 「想像したよりも上手でびっくりした」

#### ☆ 本校の生徒の感想

「初めは緊張したけど、みんなと一緒にできることがあってうれしい！」  
 「またやってみたい」



交流は、各中学校の協力があってこそその活動です。相互に人格と個性を尊重し合える共生社会に向けた取り組みの一つとして、来年度以降も、居住地校交流への御理解と御協力をお願いします。

また、今年度は7校の内1校で障害理解授業(出前授業)と交流を組み合わせて実施することができました。出前授業は、中学生だけでなく、保護者、学校職員向けのメニューもあります。ぜひ、交流活動と一緒に御活用ください。



## 第2回高等学校特別支援教育連絡会から

2月19日（火）に、本校が事務局となり「第2回高等学校特別支援教育連絡会」を開催しました。地域の、高等学校の特別支援教育コーディネーターと中学校の上級特別支援教育コーディネーターが顔を合わせ、特別な支援を必要とする生徒の支援状況について情報交換をしました。

連絡会では、今後の校内支援体制のさらなる構築などに向けて、以下のことが話題に上がりました。

### <校内委員会の持ち方について>

- ・主任会等の後に設定することで、1回/月、関係者が集まり、無理なく継続して実施することができる。

### <高等学校支援隊の効果的な活用の仕方について>

- ・日常的なメール相談や電話相談も活用する。  
\* 直接の訪問だけでなく、困ったとき、知りたい情報があったときに気軽に相談する。

### <研修会の実施について>

- ・基礎的研修とワークショップ型の研修会を実施したい。  
\* 障害特性の理解についてはまだまだ職員の個人差が大きい面もある。発達障害の特性と支援という基礎的な部分を定期的に研修するとともに、ユニバーサルデザイン化した授業づくりや自校のケースを取り上げてワークショップ型で研修をする。

### <中学校・高等学校間の引き継ぎについて>

- ・本連絡会で紹介のあった内容（高等学校での支援の好事例等）を、地域の中学校でも紹介する。  
\* 上級特別支援教育コーディネーターが主となり、地域の中学校に周知をしていきたい。  
実際に、本連絡会で紹介された高校での支援の在り方の一例を伝えたことで、保護者が安定し、生徒の状態の改善につながったケースもあった。

### <周囲の障害理解の促進について>

- ・天王みどり学園「ボランティア養成講座」の「出前講座」を活用する。

このほかにも、個別の支援計画、個別の指導計画の作成と活用等も話題に上がり、中学校からの引き継ぎの重要性も話し合われました。さらに、年度の途中に学校訪問等を実施することで、高等学校特別支援隊と特別支援教育コーディネーターとで継続的に情報交換する機会をもちたいとの話も出ました。

本連絡会は、4年目の取り組みとなり、関係者が気軽に情報交換ができる場になってきたように思います。今後も顔を合わせながら具体的な情報交換の場にしていきたいです。



### お問合せは…

T e l : 0 1 8 - 8 7 0 - 4 6 1 1

F a x : 0 1 8 - 8 7 0 - 4 6 1 2

E-mail : [midori-s@akita-pref.ed.jp](mailto:midori-s@akita-pref.ed.jp)

秋田県立支援学校天王みどり学園

教 頭 渡部 透

地域支援部 塚田 誠